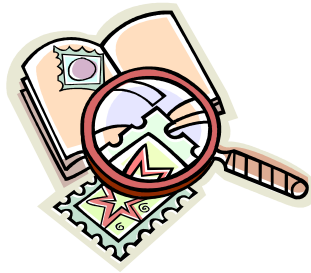


「自閉症の特性を知り、子育てと支援の基礎を学ぼう」



## 第2回学習会報告

8月24日(木)、かでの2.7(730研修室)において、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる所長 加藤 潔氏をお迎えして上記学習会を開催致しました。保護者の皆様からは、23名のご参加をいただきました。

第2回目のテーマは「構造化で家の中を整理整頓」でした。

先生は、構造化の6つの視点として、物理的構造化・スケジュール・ワークシステム・視覚的構造化・強化子(ごほうび)・コミュニケーションをあげられました。

そして、前回の宿題である構造化の実践に関することでは、恒例となったグループワークの中で、早速各自の実践を報告し合いましたが、皆さんがお互いに持ち寄った写真等を興味深く覗き込んでいる様子をご覧になられた先生は、改めて視覚支援は人を引きつけるものであることを評しておりました。

時間的に全体発表までには至りませんでしたでしたが、たいへん有意義であった様に感じました。

自閉症について基本的なことを理解していて、さらに構造化が必要であると感じていても、それを実践まで結びつけていかなければ絵に描いた餅になってしまいますので、今後も小さな実践を重ねて、その経過の中における具体的な疑問等を解決していく場になっていければ…と思います。

加藤先生、ご参加の皆様、ありがとうございました。

第3回(9月9日)への宿題は、『余暇』です。

その後、第4回は10月14日(金)10:00~12:00、かでの2.7(730研修室)の予定です。どうぞ継続してご参加ください。

参考文献：『自閉症の人たちを支援するということ TEACCHプログラム新世界へ』 800円

『自閉症の人たちへの援助システム TEACCHを日本でいかすには』 500円

◇スペース96 <https://www.space96.com/> mail: [qwk01077@nifty.com](mailto:qwk01077@nifty.com)

TEL (03) 3991-9600

FAX (03) 3991-9634

◇朝日新聞厚生文化事業団: <http://www.asahi-welfare.or.jp/>